

宇部・山陽小野田消防組合告示第6号

宇部・山陽小野田消防組合財政状況の公表に関する条例(平成24年条例第27号)の規定により、平成30年度下半期財政状況(平成31年3月31日現在)を公表しま

令和元年(2019年)5月20日

宇部・山陽小野田消防組合
管理者 久保田后子

1 歳入歳出予算の執行状況

○ 歳 入

科目 (款)	当初予算額	補正額	予算現額	収入済額(上半期)	収入済額(下半期)	収入済額(全体)	執行率
分担金及び負担金	2,956,916 千円	△ 3,548 千円	2,953,368 千円	1,460,787 千円	1,467,278 千円	2,928,065 千円	99.1 %
使用料及び手数料	21,465 千円	135 千円	21,600 千円	10,669 千円	12,664 千円	23,333 千円	108.0 %
県支出金	59,784 千円	△ 4 千円	59,780 千円	0 千円	59,780 千円	59,780 千円	100.0 %
繰越金	1,000 千円	22,062 千円	23,062 千円	23,062 千円	0 千円	23,062 千円	100.0 %
諸収入	125,178 千円	△ 116 千円	125,062 千円	122,690 千円	4,495 千円	127,185 千円	101.7 %
組合債	18,500 千円	△ 300 千円	18,200 千円	0 千円	18,200 千円	18,200 千円	100.0 %
寄附金	0 千円	40,000 千円	40,000 千円	40,000 千円	0 千円	40,000 千円	100.0 %
歳入合計	3,182,843 千円	58,229 千円	3,241,072 千円	1,657,208 千円	1,562,417 千円	3,219,625 千円	99.3 %

※ 収入済額(上半期)は平成30年4月1日から同年9月30日まで、収入済額(下半期)は平成30年10月1日から平成31年3月31日まで。

○ 歳 出

科目 (款)	当初予算額	補正額	流充用額	予算現額	支出済額(上半期)	支出済額(下半期)	支出済額(全体)	執行率
議会費	369 千円	0 千円	0 千円	369 千円	95 千円	209 千円	304 千円	82.4 %
総務費	13,263 千円	△ 362 千円	1,511 千円	14,412 千円	2,725 千円	2,318 千円	5,043 千円	35.0 %
消防費	2,890,347 千円	80,732 千円	1,500 千円	2,972,579 千円	1,259,368 千円	1,420,480 千円	2,679,848 千円	90.2 %
公債費	274,864 千円	△ 22,141 千円	0 千円	252,723 千円	76,989 千円	136,614 千円	213,603 千円	84.5 %
予備費	4,000 千円	0 千円	△ 3,011 千円	989 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0.0 %
歳出合計	3,182,843 千円	58,229 千円	0 千円	3,241,072 千円	1,339,177 千円	1,559,621 千円	2,898,798 千円	89.4 %

※ 支出済額(上半期)は平成30年4月1日から同年9月30日まで、収入済額(下半期)は平成30年10月1日から平成31年3月31日まで。

2 住民の負担の概況(平成31年3月31日現在 宇部・山陽小野田消防組合管内)

消防費予算総額	1人当たりの消防費	1世帯当たりの消防費	人口 / 世帯数
3,241,072 千円	14,232 円	29,956 円	227,735 人 / 108,195 世帯

3 財産、組合債及び一時借入金の現在高(平成31年3月31日現在)

区分	詳細区分	現在高	備考
財 産	土 地	0 m ²	土地、建物、車両については、宇部市と山陽小野田市から無償貸与されています。 現在高については、平成24年度以降に消防組合で整備したものです。
	建 物	24 m ²	
	車 両	31 台	
	基 金	0 千円	
組 合 債	—	467,484 千円	
一 時 借 入 金	—	0 千円	

4 平成30年度(平成31年3月31日現在)の財政状況及び財政方針

平成30年度は、一般会計当初予算として31億8,284万3,000円を編成し、消防組合の重要課題に積極的に取り組んできました。年度途中には契約不履行違約金収入による繰上償還、負担付寄附金受納及び諸需要にあわせて補正を行った結果、平成30年度最終予算は32億4,107万2,000円となりました。

消防組合の予算は、構成市からの分担金により成り立っていますので、最大限の歳出減努力及び効率的な財政運営を行い、安定した消防行政サービスを提供していきます。

引き続き、「安心・安全なまちづくり」を積極的に推進し、住民とともに歩む安心して暮らせる安全な都市(まち)をめざして全力を挙げて事業に取り組めます。